

科目名	医用工学概論			授業の種類	講義演習	講師名		
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 通年
【授業の目的・ねらい】 臨床工学技士は臨床知識と工学的知識を活用し臨床現場に携わる唯一の医療専門職である。本講座では臨床工学技士として医用工学技術がどの分野でどのように使われているか説明できるようになることを目的とする。								
【実務者経験】								
【授業全体の内容の概要】 臨床工学分野全般の知識（ME2種レベル）について、問題を用いて講義演習を行う。								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・ME2種レベルの問題を自らの言葉で解説できるようになる。								
回数	講義内容							準備物(教材)
1	解剖・電気電子の実力問題演習							
2	解剖・電気電子の実力問題演習の振り返り							
3	電気工学・電子工学・物理学							
4	治療機器学①							
5	情報処理工学							
6	治療機器学②							
7	人体の構造及び機能・疾患							
8	生体計測装置学①							
9	情報処理工学・生体物性・材料工学							
10	生体機能代行装置（呼吸）							
11	生体機能代行装置（循環、代謝）							
12	生体計測装置学②							
13	医用機器安全管理学							
14	生体物性・材料工学							
15	まとめ							
定期筆記試験								
【使用教科書・教材・参考書】 ・臨床工学技士標準テキスト 第3版、小野哲章、金原出版株式会社 ・MEの基礎知識と安全管理 改訂第6版、日本生体医工学ME技術教育委員会、南江堂								
【準備学習・時間外学習】 ・準備学習、事後学習として各単元での教科書やノート等を活用し、まとめノートを作成する。								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テストの評価を60点、定期試験を40点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する								